

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	玄関の施錠について、3ユニット中、現在Aユニットは午前の一部のみ開錠している。Cユニットは普段は開錠、入居者の状況によって施錠する場合がある。Bユニットは施錠していない。 ベッド4点柵は、Aユニット2名、Cユニット2名行なっている。 体幹ベルトは、Aユニット1名、Cユニット1名行なっている。	入居者の安全を優先しながら、拘束のない暮らしをより進めていく。	施錠については、危険性を考慮しながら開錠する時間を広げていく。 ベッド4点柵・体幹ベルトについては、本人の状況に合わせ、拘束時間を少なくしていき、徐々に解除に向けて取り組む。	12ヶ月
2	34	多岐にわたる想定を変えた災害訓練を実施していない。	夜間を想定した火災訓練や地震・水害を想定した避難訓練を行なう。	救急対応委員会が年4回程度実施する災害訓練で、通常の火災訓練だけではなく、夜間を想定したものや地震・水害を想定した避難訓練等を検討し実施する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。